

【直接ミニポーチに仕上げる制作方法】

最初からマスクケースに仕上げず、ミニポーチに仕上げるアレンジバージョンの制作方法。

最初からミニポーチにする場合は、ダイヤボンドがあるので、テキストP12の

【マスクケースからミニポーチへのリニューアルの仕方】の【B】の方法がおすすめ

* テキストP2の①と②とP3の⑤と⑥は本体の片側のみで、フタの両方の辺は見えない為なしでよい。

* P9 ③③までは上記以外は基本のテキストと同じ。

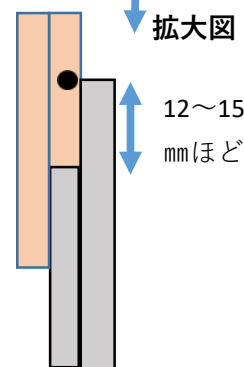
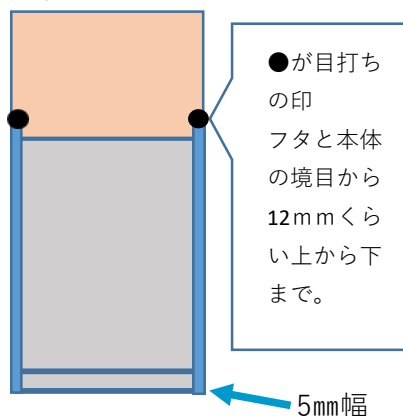
- ③④+ 本体裏の一番下の端から端まで両面テープを貼り、裏の薄い革が貼っていない部分2cmが見えなくなるように折り返し接着し、圧着。
(両面テープは5mmより太いテープでもいい)



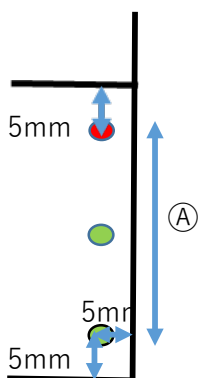
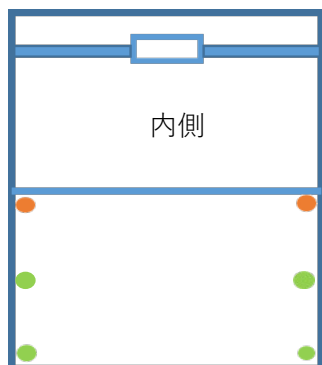
- ③⑤+ フタを閉じ、ひねり金具で留めてみる。
真上に持ち手を付ける手カンが付いていることを確認。
ひねり金具を留めたままポーチの底に折り目のクセ付け。
そのまま潰した状態でひねり金具を開け**本体がフタ**のどのあたりまで来ているかを確認し**目打ち**で印を付けておく。通常**フタと本体の境目から12~15mm**ほどになる予定。両端から5mmのところの**目打ちの位置**から下まで、目打ちまたはボールペンで線を引く。
端からその線までの5mm幅のところをカッターで傷をつけ、ダイヤボンドを塗る。
(青色の部分)



- ③⑥+ 乾いたら目打ちの点に一番下の部分を合わせるようにして、折って圧着。



- ③⑦+ 下の図の通り赤○、緑○の位置に印をつけ（革の端から5mm）2mmの穴を開ける。



- ③⑧+ 赤○は長足のカシメ
緑○は並足のカシメで留める
完成！

①Aは約8cm。中の緑○は⇄の真ん中に。
カシメの場所は適宜変えてもよい。